

平成30年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	根寄生雑草被害低減を目指した化学・生物学基盤の構築と応用
研究代表者	浅見 忠男 (東京大学・大学院農学生命科学研究科・教授) ※平成30年7月末現在
研究期間	平成30年度～平成34年度
コメント	<p>本研究は、根寄生雑草の種子発芽・寄生促進作用を持つストリゴラクトンの生合成阻害剤を利用して、受容体のリガンド認識機構や活性発現機構を解明することにより、ストリゴラクトン制御技術開発の基盤整備を行うことを目的としている。応募者は植物化学調節関連の研究で優れた実績を有しており、本研究により、植物ホルモンに関する未解明の課題の解決に迫る大きな研究成果を上げることが期待できる。また、本研究の成果は甚大な被害をもたらしている根寄生雑草の防除技術開発への貢献も期待できることから、学術的重要性のみならず社会的波及性も高い研究である。</p>